

耕平さんかわら版

発行編集部

大塚耕平事務所

☎052-757-1955

kouhei@oh-kouhei.org



皆さん、こんにちは。暖冬とは言え、朝晩は冷え込みます。くれぐれもご自愛ください。

知事選挙は県民の皆さんの関心が高まり、投票率が五十%を超えました。でも、逆に言えば、なお半分の方が投票に行っていないことになりました。さらに投票率が高くなるように、僕たちも努力をしていきます。是非ご協力ください。

ところで、知事選挙終盤で話題になった柳沢厚生労働大臣の発言。表現の仕方に話題が集中していましたが、問題の本質はもっと別のところにあると思います。

柳沢大臣は、少子高齢化で現役世代(働き手)が少なくなるため、働き手を増やすためには、女性の皆さんにより多くのお子さんを出産して頂きたいということを言いたかったようです。

現役世代が少なくなると何が問題かと言えば、財政が苦しくなることです。苦しい財政を何とかする対策はふたつ

あります。

ひとつは、柳沢大臣が言うように、将来の働き手の数を増やすことです。それ自体は否定しません。しかし、お子さんを生むかどうかは、それぞれのご夫婦の意思、女性の皆さんの個人の意思の問題です。政治家がことさらに強調することではありません。

もうひとつは、税金や社会保険料のムダ遣いをなくし、財源を捻出することです。これこそが政治家の仕事。国の予算は一般会計と特別会計を合計すると約二百兆円。地方の予算も含めると、日本全体の毎年の予算は三百兆円近くになります。そのうち、二割程度は使い方の効率化やムダ遣いは正の余地があると言われています。二割と言えば六十兆円。これを徹底的に洗い出して少子高齢化対策を進めるのが政治家の仕事です。

柳沢大臣の発言の本当の問題は、政治が本来行うべき対策よりも、ご夫婦の意思、女性の皆さんの個人の意思に関わることを、少子高齢化対策

であるとする考え方そのものにあります。

税金のムダ遣いを是正し、お子さんを産みやすい、育てやすい環境を整えることこそが政治の仕事です。そのことをきちんと行った結果として、お子さんの数が増えてくるのだと思います。問題の本質を見失わないように、国会でもしっかりと議論していきます。



眞山ぞぞコナ

(タイトル文字は書家・山内美風さん<TEL:782-1356>の作品)

—— 党王山近辺の名店を続々紹介します! ——
<今回は、「Bamboo Flower」さんです>

「Bamboo Flower(バンブーフラワー)」さんは日泰寺産道沿い東側にある子供服のお店です。

店内に入ると、ほっこりとしたインテリア。なんと、床やカウンターは手作りだとか。

お店を経営される竹花さんは、**6歳の男の子と3歳の女の子のお母さん**。男の子の服に可愛いものが少ないので、ご自身で扱ってみようと思ったのが開店のきっかけだそうです。

なるほど、店内には色とりどりの可愛らしい服の数々。すべて**アメリカからの直輸入品**で、他ではなかなかお目にかかれないものばかり。

赤ちゃんから小学校低学年くらいまでの服を取り揃えています。**出産祝い**や、**お孫さんへのプレゼント**に喜ばれるバンブーフラワーさんに是非一度、お立ち寄りを。

「Bamboo Flower」: 751-7721 (11:00~17:00 火・祝休)

女性に「産む機械・装置」……



工場労働は「労働時間だけが売り物」……

—— 失言産む機械 ——

「ヤナギサワ厚労相は失言だけが売り物?」

Yoshi